

令和4年12月1日発行

かみすながわ

# 議会だより

令和4年 第3回定例会

第22号

発 行 上砂川町議会 編 集 議会活性化特別委員会  
上砂川町議会事務局 電話 0125-62-2880

秋の交通安全運動旗の波



## 掲載内容

* 主な議会政務報告について	2P
* 一般質問と答弁内容（要旨）について	3P
* 議員のつぶやきコーナーについて	6P
* 提案された意見書について	7P
* 行政常任委員会報告について	7P
* 町内行事への参加報告について	8P

## 主な議会政務報告について

令和4年9月以降～

年月日	会議行事名	場所	出席者
9 5	全員協議会	役場	全議員
	議会運営委員会	役場	全委員・議長
	9 上砂川町敬老会	体育センター	議長他5名
	13～16 第3回上砂川町議会定例会	議事堂	全議員
	13 議会運営委員会	役場	全委員・議長
	14 行政常任委員会	役場	全委員・議長
	15 決算特別委員会	議事堂	全委員・議長
	30 秋の交通安全運動（旗の波）	町内	越前議員・小澤議員・笹木議員・石田議員
	教育長就任式	役場	副議長
10 7	中空知町議会議長連絡協議会第2回定期総会	新十津川町	議長
	9 滝川駐屯地創立67周年・第10即応機動連隊改編3周年記念行事	滝川市	議長
	14 消費生活展	町民センター	議長
	17 行政常任委員会	役場	全委員・議長
	22 稲津久政経セミナー	滝川市	副議長
	26 空知町村議会議長会第2回定期総会	札幌市	議長
	28 第4回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員
11 2	上砂川町表彰式	役場	議長・副議長
	6～8 空知町村議会議長会道外行財政制度政務調査	静岡県・神奈川県	議長
	9 第66回町村議会議長全国大会	東京都	議長
	9～12 中空知町議会議長連絡協議会道外政務調査	石川県・福井県	議長
	29 第2回中空知広域町村圏組合議会定例会	滝川市	議長
	第2回石狩川流域下水道組合議会定例会	滝川市	議長
	第2回中・北空知廃棄物処理広域連合議会定例会	滝川市	議長
	30 第2回砂川地区保健衛生組合議会定例会	砂川市	笹木議員
	第2回砂川地区広域消防組合議会定例会	砂川市	笹木議員

## 議長新年あいさつ



高橋 成和

令和5年度の新春にあたりご挨拶を申し上げます。町民の皆様方には日頃より町議会に対しましてご支援をお寄せいただきておりますことに対し深く感謝とお礼を申し上げます。

3年前から感染が拡まつた新型コロナウイルス感染症の影響により新しい生活様式が求められ、長期間による外出制限により地域経済の低迷は深刻なものとなりました。昨年につきましては全国的に少しずつではありますが経済の復興の兆しが見られ、町内においても3年ぶりに休止していた事業やイベントを開催

されるまで回復できましたし、9月末には感染者の全数把握の見直しがおこなわれ、保健所や医療機関の従事者の負担軽減に繋がつたところです。現在も第8波による感染者数の増加や季節性インフルエンザの流行が予測されており、引き続き感染対策に心がけていただけますようお願い申し上げます。

また私たちをとりまく経済情勢については、円安が続き物価が高騰し不安な日々が続いております。令和3年12月に政府は国内の物価高騰、燃料高騰などに対応するためコロナ対策の経済支援に31兆5千6百億円の補正予算を実行したところですが、昨年12月においても28兆9千2百22億円にのぼる補正予算を閣議決定しております。

町としたしましても国からのコロナウイルス対策給付金と町独自の予算を活用しながら対策を進め、令和4年4月から12月にかけては、町独自の支援

策であります光熱費高騰対策による全世帯5万円現金給付を含め経済対策や生活支援対策に2億4千4百万円を充当しており、3年間の累計を見ますと6億4千万円ほどの予算を実行しているところです。

策であります光熱費高騰対策による全世帯5万円現金給付を含め経済対策や生活支援対策に2億4千4百万円を充當しており、3年間の累計を見ますと6億4千万円ほどの予算を実行しているところです。

今後も一層のご支援ご協力を

お願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

3年間の累計を見ますと6億4千万円ほどの予算を実行しているところです。

### 第3回定例議会質問

(質問者順)

議席番号1番

石田 浩二議員



質問要旨

「000000JAPAN  
(ファイブゼロジャパン)」について

大規模災害時の避難場所は町の防災ハザードマップに各地域ごとに設けられており、町民の

安全が確保されているので安心ですが、避難をした時に家族や遠方の親族への連絡をするのに、通信機能が使えませんと安否確認ができなくて混乱を招く可能性があると私は思います。

災害時や避難される町民が  
多数いる場合にはフリー Wi-Fi  
が使用できるのでしょうか？

にブリーワークが開通していく  
い所があるようですが、今後  
開通していくべきだと思います  
すし、「ファイブゼロ・ジャパ  
ン」の導入も、災害時に簡単  
にネットを使用できるように  
なりますので導入する事が私  
は良いと思いますが開通予定  
はありますでしょうか？

答弁要旨

避難所に避難をした町民等が家族等への安否確認する際、スマートフォンでの通話が不能となつた場合、不安や混乱を招くことになりますので、

フリー Wi-Fi 環境を整備することで安否確認のほか、災害時の情報収集をスマートフォンやタブレット等で受信できると考えております。

避難者が多数の場合に、フリー Wi-Fi が使用可能かとのご質問でございますが、動画等の視聴を遠慮いただくことで、スマートフォンに問題なく使用できると考えております。

り運用することができ、被災地で誰でも簡単に接続できるという利便性を有する一方、通信の暗号化によるセキュリティ対策が講じておらず、スマートフォン内の個人情報の流出等安全性に課題もあります。

質問要旨



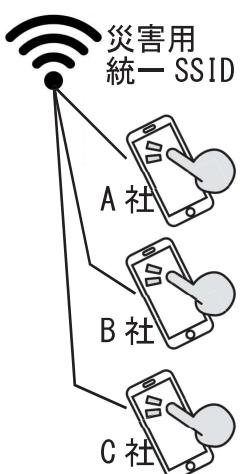
**有害鳥獣対策の拡充について**

全道的にヒグマの出没や目撃情報が増えていきます。本町では熊の目撃情報が、住宅地近郊での出没もありました。

実際に熊が出没した地域やその周辺に住まわれている多くの住民は、不安な生活を余儀なくされています。何よりも、熊による人身被害の発生が危惧される状況であり、熊の出没予防対策の拡充は待ったなしです。

状況であり、熊の出没予防対策の拡充は待ったなしです。

答弁要旨



なお、推進連絡会への加入につきましては、近隣市町の動向も見極めながら検討してまいりますことを申し上げ答弁とさせていただきます。

このことから、現段階では導入をする予定はなく、町で設置するフリー Wi-Fi を活用していくこととしております。また、未設置の公共施設につきましても、冒頭申し上げましたが、デジタル化の対応を含め、次年度以降も順次整備してまいります。

**有害鳥獣対策の拡充について**  
全道的にヒグマの出没や目撃情報が増えています。本町では熊の目撃情報が、住宅地近郊での出没もありました。

全道的にヒグマの出没や目撃情報が増えて います。本町では 熊の目撃情報が、住宅地近郊での出没もありました。

実際に熊が出没した地域やその周辺に住まわれている多くの住民は、不安な生活を余儀なくされています。何よりも、熊による人身被害の発生が危惧される状況であり、熊の出没予防対策の拡充は待ったなしです。

答弁要旨

議席番号4番  
小澤一文議員

体数の減少懸念から平成2年度に春グマ駆除が廃止された以降頭数が増加し、令和2年度では1万1700頭との推計もあります。最近では人里近くや市街地での出没が増加し、人身被害や農業被害も増えていることから、本年4月に策定された第2期ヒグマ管理計画では、ヒグマとの緊張感ある共存関係の構築を目指し、計画的な保護管理により人身被害の防止や人里への出没抑制が目標とされております。

本町の状況でございますが、議員ご指摘のとおり本年度の目撃情報は13件と昨年同時期に比べ4件の減となつております。

起に努めています。さらに、獣友会によるパトロール強化や隣市砂川市・歌志内市担当課との情報共有を行いながら、今年度は新たにヒグマの出没を防止するための草刈り事業を他自治体に先駆け実施したところ、昨年年度出没が9件ありました朝駒本町地区では草刈り実施後の目撃は半減し効果があると思われるところから、次年度以降も実施してまいりたいと考えております。議員のご提言にありました「鳥獣被害防止対策装置」につきましては、昨年度近隣町の事業者にデモンストレーションを行つていただきましたが、90デシベルとかなりの音量が生じますので、本町の様に狭い住宅地に設置した場合の騒音問題等検証を行なながら導入について検討しているところであります。

しかし、こうした対策を実施しているものの、北海道がヒグマの適正な個体調整策としての捕獲・駆除が未実施であること

から対症療法的な施策となり、住民が安心して生活できるようないい状況にあります。町としては再三申し入れを行つているものの、抜本的な解決には至つたしましては、今後も継続して申し入れを行いながら近隣市町や獣友会と連携し、できる限りの対策を講じてまいりますことを申し上げ答弁いたします。

## 尿漏れペッドの捨て場所確保について

近年、前立腺がんや膀胱がんなどの増加に伴い、男性でも尿漏れパッドを着用する人が増えているようです。前立腺の摘出手術を受けた人の大半は、術後しばらく尿のコントロールが難しく、症状が改善されるまで尿漏れパッドの着用が欠かせなく、また、膀胱の手術やその他の疾患でも尿漏れパッドが必要な男性は少なくないようです。

見解をお伺いします。

前立腺がんは、日本人男性において罹患数が最も多いがんとなりました。本町での罹患数は極めて少ないようですが、こうした弱い立場にある人が必要としているならば、公共施設等の男性用個室トイレにサニタリー poccksの設置を積極的に進めることを取るべきと考えますが、

大変デリケートな問題であり、男性も声を発しにくいこともあり、この問題は余り表立て語られてこなかつたようです。

## 答弁要旨

始めに、国立がん研究センターによりますと、2018年に前立腺がんや膀胱がんと診断された男性は、全国で11万人ほどにのぼり、前立腺がんは、部位別のがん罹患数の順位でも1位で、10万人当たりの罹患数は149・5人となつており、近年、前立腺がんや膀胱がんに

なる方は増えてきております。日常生活においては、尿意を感じる頻度が増大し、時には漏れてしまう事もあることから、これをお防ぐために、男性でも尿漏れパッド等を使用する方が増えてきております。

現在、本町においては、男子用トイレへの使用済みのパッドを捨てられる「サニタリーボックス」を設置しておりますが、議員ご指摘のとおり、尿漏れパッドを利用している方が、トイレにサニタリーボックスがあれば使用済みのパッドを持ち帰らずに廃棄でき、気兼ねなく外出ができるための環境整備は必要と考えることから、本町いたしましても、前立腺がんなどの病気や高齢によつて尿漏れパッドを日常的に使用する人が安心して外出することができるよう、まずは、多目的トイレのある役場及び町民センターについて検討してまいります。

日常生活においては、尿意を感じる頻度が増大し、時には漏れてしまう事もあることから、これをお防ぐために、男性でも尿漏れパッド等を使用する方が増えています。

現在、本町においては、男子

用トイレへの使用済みのパッドを捨てられる「サニタリーボックス」を設置しておりますが、議員ご指摘のとおり、尿漏れパッドを利用している方が、ト

イレにサニタリーボックスがあらわす地域で自らの尊厳を保ちながら安心して生活できる社会を構築してまいりますことを申し上げ答弁とさせていただきます。

今後も町民の皆さんのが住み慣れた地域で自らの尊厳を保ちながら安心して生活できる社会を構築してまいりますことを申し上げ答弁とさせていただきます。

多目的トイレ以外の男性用トイレについても、サニタリーボックスを置くのが理想と考えますが、スペースが狭く設置が困難な場合もございますので、施設の実情及び利用状況などに鑑み必要に応じて設置を検討してまいります。



### 質問要旨

#### 郵便ポストの未設置地区について



町内には、郵便ポストが下鶴地区2か所、緑が丘、若葉台、鶴、鶴本町、東鶴、本町地区に各1か所、中央地区6か所の14か所に設置されています。設置されている地域にムラがあり、朝駒、中町、東山地区には設置されおらず、近い所としては炭山郵便局（本町）になります。

この度のコロナ禍において、郵送による返信、回答を求められることが増えたこと、また、

設置基準などもあり簡単なことではないと想像しますが、困っている方がいる以上、何らかの方策を立てることが大切だと考えます。

日本郵便では「郵便局活性化の推進事業」として暮らしの安心安全サポート、住民生活のサポート、まちづくりのサポートなど、行政との連携でまちづくりを進めている所もあると聞きます。

特にケアを必要とする方が生

活されている東山高齢者住宅では、炭山郵便局のポストまでの歩行に困難を感じる方も少なくありません。

数年前にも、東山地区の住民

が郵便局にポストの設置（東町からのポストの移動も含め）を要望した経緯がありますが、いまだに回答を得られていないことがあります。そこから考えると、地域住民、個人的な働きかけでは設置には至らないと推測されます。

と・しごと創生総合戦略』「上砂川町過疎地域接続的発展市町村計画」でも示されている『健康でいきいきと暮らせるまち』につながり、生活維持や生きがい対策、だれもが安心して暮らせるまちづくりの一環としても郵便局との連携は有効なことと考えます。

未設置地区のポスト設置に向け、私設ポスト（私設郵便差出箱）の設置も視野に、行政からの働きかけが有益と考えますが見解をお伺いします。

未設置地区のポスト設置に向け、私設ポスト（私設郵便差出箱）の設置も視野に、行政からの働きかけが有益と考えますが見解をお伺いします。

しかしながら、利用頻度を勘案したうえで、地権者との調整や郵便物の集荷に要する時間、冬季間における管理等の課題が整理された場合、行政・個人間わず要望により郵便ポストを移設することは可能でありますことから、東山高齢者住宅の入居者に係る対応を含め、各町自治会の意向確認や配置標準との照合を行いながら、日本郵便への要望と協議の可否について判断してまいりたいと考えております。

郵便ポストにつきましては、一部地域は未設置となつてゐるのが現状であります。日本郵便株式会社による配置標準を確認したところ、郵便ポスト間の距離・利用戸数の関係から、郵便ポストの総数を増設することは難しく、また私設ポストの設置につきましても、例えば企業

についてご案内をいただき、2年前から意見交換会を実施し、関係部局への情報提供を行つておりますので、今後は地域課題も含め、引き続き郵便局との連携について検討を進めてまいります。

等からの要望であれば別ですが、自治会単位での使用となりますと日本郵便の承認を満たす1日平均差入通数に達する見込みがたたず、また設置維持費に多額の費用を要することから、町としては、費用対効果の観点から現実的ではないものと判断しているところであります。

時には、何をくだらないことを呟いていると思うことも有るかと思いますが、それも愛嬌と思つていただいて、ほっこりしていただければ、幸いです。宜しくお願いします。



## 「議員の呟きコーナーの掲載について」

なお、郵便局からは地方公共団体事務の受託や住民サービスに向けた各種支援メニュー等に

## 答弁要旨

郵便ポトスにつきましては、

一部地域は未設置となつてゐるのが現状であります。日本郵便株式会社による配置標準を確認したところ、郵便ポスト間の距離・利用戸数の関係から、郵

### 「何気ない私の手相の話」

石田 浩二議員 激白

ここ数年、私が興味あるのは「手相」です。

そのキッカケは帰宅すると家族が「この手相って珍しいだつて♪」教えてくれたことです。その方は数多くのテレビ番組や映画でよく見かけられた方でし

た： 私 「全然珍しくないでしょ！」

私も同じだよ♪」と家族に見せたら、目が点…♪

すると家族の一人がネットで調べたら「両手ますかけ」と名前

がわかり、なんだか数千人に一人なのだとか大騒ぎ…

まあ特殊なんだなあと、思いましたが気にしないで過ごしていました

度手相を見せてと言われ、やれやれまたか…

と思い見せたら「右手の中央に星印がある！やつぱり♪」と言われ気にもしていなかつた自分の手のひらを見ると、ありました！

やれまたか…

結果ですが、初めて見たと言わされました（本当なのか？）

私は実感はないのですが、様々な「運」の結合タイプらしい：

た：

私は健康と家族が健康で過ごすのが一番良いと思っているの

で、欲求がなく特に物欲はほぼない！

なので健康寿命が80歳まで続けば、今回の手相の効果？と言えるのかなと思った出来事でした。

賛成議員 小澤 一文  
 笹木 瑞子

意見書案第3号  
 2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

令和4年9月14日に委員会を開催

（2）行政常任委員会の今後は、12月15日に予定しています。

タール化にもとづきタブレットの運用（議会システム用タブレット端末機運用基準（案））を決定

提出議員 蔵根 高史  
 賛成議員 越前 等

石田 浩二

## 行政常任委員会報告

令和4年9月14日に委員会を開催

意見書の議員提案が第2回定例会で2件あり原案のとおり可決され、関係機関に提出されました！

議会システム用タブレット端末機の議会外（役場）持ち出しについて

（1）議会以外に使用しない等について決めました。

令和4年10月17日に委員会を開催

（1）議会以外に使用しない等について決めました。

又、鶴神社は明治32年の開拓が始り、その4年後に建立され本年で120年を迎えました。

星印も珍しいとの事だつたが「両手ますかけ十星印」はいな

い…

森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出議員 吉川 洋

## 鶴神社120周年・鶴本町自治会創立70周年記念式典

ております。夫々の町内地域で戦後復興、地域自治確率の為に先輩諸兄はじめ多くの方々の御努力の結果が現在に繋がっています。改めて感謝をした次第です。

(記吉川 洋)

出席者（7名）

高橋成和・吉川 洋・伊藤充章・  
小澤一文・越前 等・歳根高史・  
石田浩二



## 編集機記

12月になりますと厳しい気温と、積雪が多くなる季節で毎朝の雪かき作業が日常的になつてくる頃です。

1年はいつもあつという間に過ぎると、12月になりますとよく思いますね。

師走は他の月より早く過ぎる感覚があり、年末年始の仕事の締め、家の大掃除と大変忙しい月であります。

今年1年を振り返ると、経済は急激な円安やロシアによるウクライナ侵攻の戦争により、物価高騰や油脂価格の上昇により日用品、食品の値上げが続いて家計への影響があつた年だったと思ひますし、支出や固定費を見直された方もおり、これからの方に注視していきたいと思います。

まだまだコロナ過ですが、各町内のイベントや団体の活動

ができたことの喜びを改めて再認識しました。

町民の方が1つになつて、時間を共有する事は本当にとても良いことでした。

それは8月の仮想盆踊り・花火大会が3年ぶりに開催された事が大きいと思いました。

沢山の来場者が訪れて楽しんでいたんだと感じました。

花火大会は一体感が深まる観戦で、最後まで花火を楽しんで頂けたましに、上砂川の花火は迫力があつてとても良かつたとお聞きしました。

来年の開催への期待は高まつた仮想盆踊り・花火大会でした。

また、私事ですが8月に第二子が誕生し、忘れかけていた育児に奮闘中であります。

第一子のお友達の中に、私も含めて4名の赤ちゃんの誕生もあり、子供たちは喜んで育児の手

伝いをしていると、ほのぼのした話も聞いております。

こういった話もいくつもあり、今年1年は町全体としても、良いことが多かった1年だったと思いました。

何かと御多用とは存じますが、何卒お気をつけて年末をお過ごしください。

(記 石田 浩二)



## 「上砂川町の母村・福井県福井市鶴地区を訪問して」

本年10月9日より3泊4日で福井市鶴地区を鶴本町の住民を中心に行き、現在、上砂川町と福井市鶴地区との交流は、小学校の相互

交流、上砂川中学校の修学旅行とその交流が広がってきております。

私は今回を含め3回訪問をしておりますが、行く度に思うこ

とですが、鶴地区の皆さんにとって本当に上砂川からの訪問を大歓迎をしてくださり、訪問中、現地の皆様の心のこもったおもてなしをしてくれます。

今回は、富山空港へ降り、小松空港から帰つてきましたが、必ず鶴地区の方が迎えに来ており、又帰りも必ず空港までお見送りに来てくれます。

鶴地区である、西中野地区の稲荷神社、山内甚之助氏の生家跡等、上砂川と関わりのある場所

が沢山あり、それらを見学に行くときも必ず朝早くから当地の方々が何人も準備をして待っています。当日は空模様が思わずなく時折雨も降りましたが、その様な中でも案内をして、夫々の説明をしていただきました。

行つてみて初めて、鶴地区の方々の上砂川を大切に思つてくれる心を理解でき、又同じ思いを何時も感じます。

鶴地区の方々に、何故こんなにも上砂川の事を大切に思つてくれるのかと尋ねとみましたが、上砂川は明治に福井の鶴から開拓に入つた以後現在までに地域の中に沢山、鶴の地名を残してくれて、又鶴の名所の入つた物も未だに有ることが本当に嬉しくて、感謝に絶えないと話しています。

今、福井の鶴地区は明治以後合併が進み住所としては鶴の名称は残つていません、残つてゐるのは鶴公民館、鶴小学校、鶴

郵便局位のものです。この様なことからも上砂川への思いが強いもの思います。今回の訪問を機に又交流の輪が広がる事を願います。 (記 吉川 洋)



山之内甚之助生家跡



鶴公民館